

# 利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所  
 発行人 富田 孝  
 〒378-0031 沼田市薄根町 4412 番地  
 TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180  
 E-mail : tonekyou@pref.gunma.lg.jp

## 生涯学習系 地域学校協働活動の活性化を目指して

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校と家庭・地域が相互の連携・協働のもと、一体となって子どもたちの成長を支えていくことが求められています。地域学校協働活動の一層の充実と活性化を目指し、各校における取組を見直してみましょう。

**学社連携担当教諭**：コロナ禍で、地域の方をお呼びしての活動を控えていて十分な活動ができません。

**地域学校協働活動を進めていく上で、どんな課題がありますか？**

**学級担任**：地域に出かけていってまで活動する余裕がありません。

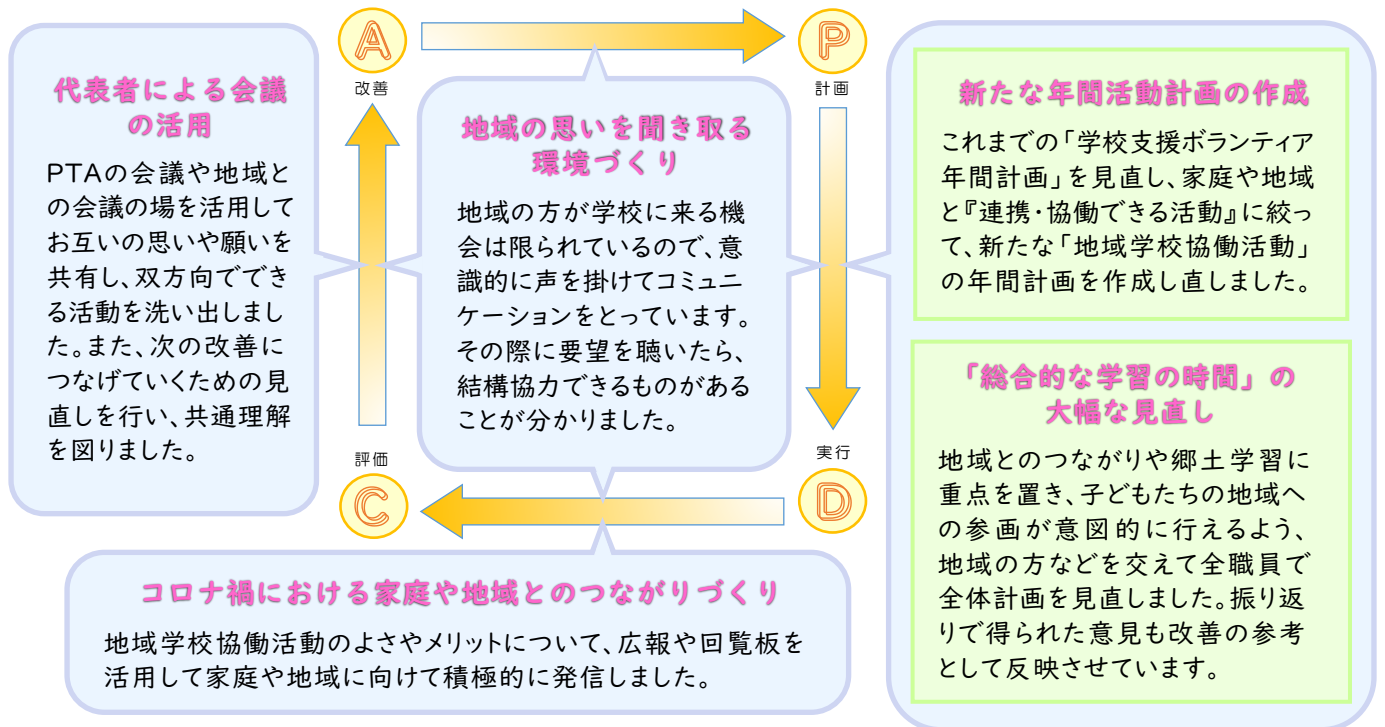
**管理職**：「地域学校協働活動」の重要性は十分理解しているのですが、校内で共通理解が図れていません。

**社会教育主事**：まだまだ学校へ行くには敷居が高くてね。でも子どもたちにも願っていたことはたくさんあります。

**地域の方**

なるほど、みなさんそれぞれの立場で課題を抱えているのですね。家庭や地域からの意見や思いを活動内容や年間計画等に反映させ**共有しながら取り組んでいく**ことが、活動の形骸化を防ぐとともに「**双方向**」の視点をもった継続的な「**連携・協働**」になります。

以下のようなPDCAサイクルで実行していく中で、取組の例が課題解決のヒントになるかもしれませんので参考にしてみてはいかがでしょうか。



効果的に地域学校協働活動を行うことで、教職員の負担軽減などの学校運営の改善にもつながります。双方向による活動の活性化を目指し、『充実した地域学校協働活動のためのチェックシート』を活用しながら、各校の実態や特色に合わせて工夫して取り組んでいきましょう。



チェックシート

# 総務係 「チーム学校」に係る学校課題解決への取組～事務職員特配校の実践～

令和3・4年度、沼田市立沼田東小学校に事務職員の特配を配置し、「チーム学校」に係る学校課題の解決に向けて取組を進めていただきました。事務職員を中心に学校全体で業務改善に取り組んだ具体例を紹介いたしますので各学校で参考にしてください。

## 沼田東小学校の実践事例

沼田東小学校では「児童一人一人がよりよい学校生活を送ること」を目指して、職員一丸となって、様々な学校課題の解決に向けて取り組んでいます。職場全体には「業務改善」の意識が高まっており、職員一人一人が常に考え、挑戦しようとする雰囲気が大切にされています。こうした環境の中で、事務職員として、事務職員だからできることは何かを考え、全職員で共通理解を図りながら、校務の効率化やマニュアル化を進めてきました。以下に、3つの視点（「つなぐ」、「関わる」、「俯瞰して助言する」）から取り組んだ実践事例を紹介いたします。

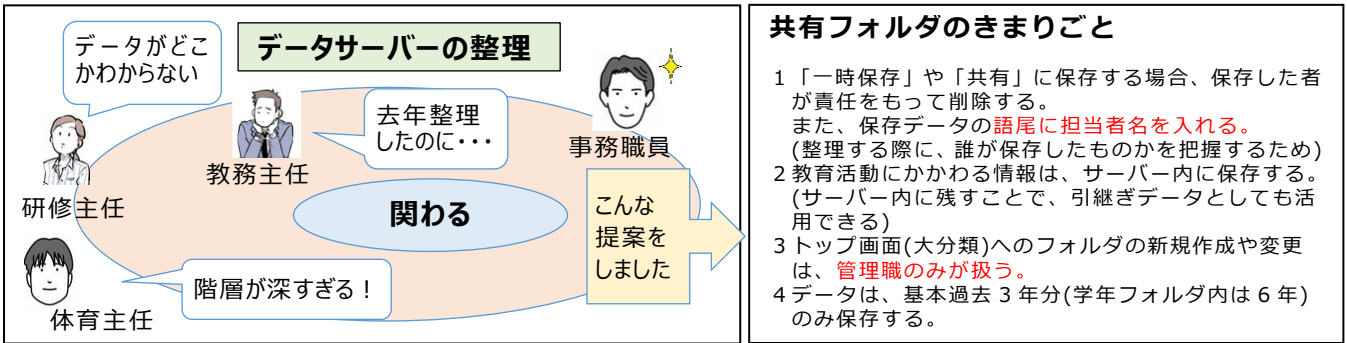
### 【実践1】学級費における集金後のマニュアル作成

学級会計の処理において頭を悩ませる作業の1つに業者への支払いがあります。そこで以下のような取組をしました。



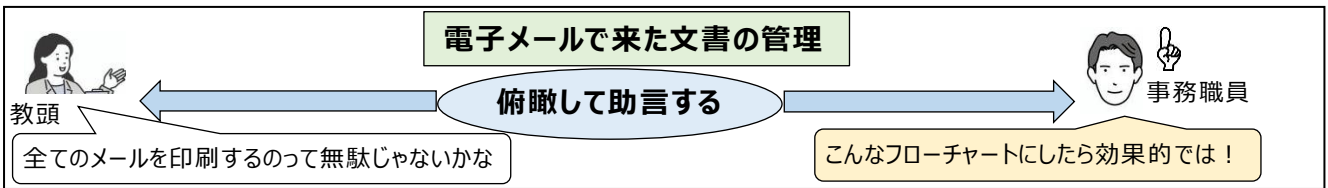
### 【実践2】共有サーバー内の統合・整理

ファイルの整理とデータを保存するための「きまりごと」を作成し、整理された状態が継続できるようにしました。

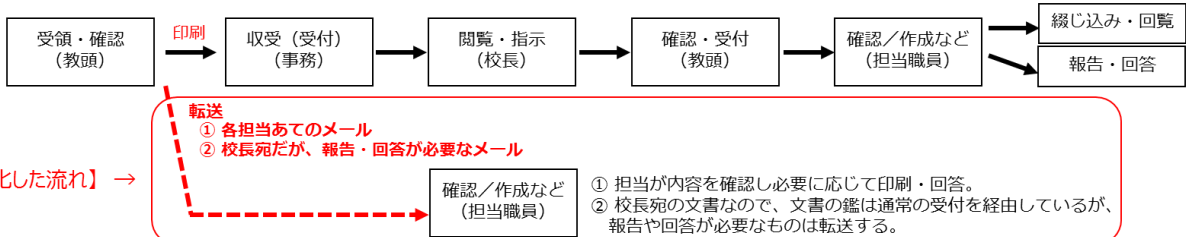


### 【実践3】電子メールを活用した文書の取扱い

職員一人一人にメールアドレスを付与し、自分が使用しているPCからメールを使用できる環境を整備しました。受領確認者が確認したメールは担当者へ転送し、必要なデータかどうかは担当者が判断することで効率化を図るとともに、紙の削減にもつなげることができました。



#### メール受信時の流れ



### 【おわりに】

2年間の実践の中で、今後職員の入れ替わりがあっても継続して行うことができるようなものを造り上げて、全職員で共通理解を図ってきました。学校に長く根付いていように取り組むことが大切であると考えます。また、時代の流れやニーズに沿ったものという視点から現在の取組を見直していくことも必要なことです。これからも、職員の一歩一歩の一言や、共有した情報の中から課題を見だし、「児童一人一人のよりよい学校生活」につながる取組を進めたいと考えます。